

ドラッグストアの果たす経済的役割についての検討の視点

1. ドラッグストア業態の考え方

→セルフメディケーションを推進するにあたり、ドラッグストアには医薬品の販売にとどまらず、消費者の健康全般に対する商品やサービスを提供していくことが重要なのではないか。

2. ドラッグストアの果たす経済的役割

(1) 新たなマーケットの創出(機能性表示、介護食品等)

→セルフメディケーションの推進に関連する各種政策の動き等は、ドラッグストアにとって新たなマーケットを創出する機会ではないか。そのような中、ドラッグストアは情報提供機能の強化を図る必要があるのではないか。

(2) 他の小売業との協業等

→セルフメディケーション推進のためには、他の小売業態との協業等を検討していくことが必要ではないか。

(3) インバウンド需要の取り込み・国際展開

→近年の外国人旅行者の増加に伴い、ドラッグストアもインバウンド需要の高まりに応える取組を進めていく必要があるのではないか。一方、国際展開を検討することも必要ではないか。

3. セルフメディケーション推進において求められる情報発信機能

→セルフメディケーション推進に向けたドラッグストアの情報発信はどのような内容・方法か。